『正法眼蔵』の構成

『嗣書』は『正法眼蔵』のうちの一巻です。ここでは道元禅師が生涯をかけて著した『正法眼蔵』の全体像を紹介します。
『正法眼蔵』は、後世の門人により編集され、その過程によって、60 巻本、75 巻本など諸種の構成がありますが、現在流布している 95 巻本（本山版）では、次の構成・巻名となっています。巻番号は、道元禅師が説示した年代順に付されています。
（巻数の　　（網掛け）は真筆本と伝承されるものが現存する巻）

巻数	巻名	よみ	説示年月日	場所	西暦
1	辦道話	べんどうわ	寛喜３年８月	不明	１２３１
2	摩訶般若波羅蜜	まかはんにゃはらみつ	天福元年夏安居	興聖寺	１２３３
3	現成公案	げんじょうこうあん	天福元年８月頃	不明	１２３３
4	一顆明珠	いっか(の)みょうじゅ	嘉禎４年４月18日	興聖寺	１２３８
5	重雲堂式	じゅううんどうしき	暦仁２年４月25日	興聖寺	１２３９
6	即心是仏	そくしんぜぶつ	延応元年10月	興聖寺	１２３９
7	洗浄	せんじょう	延応元年10月23日	興聖寺	１２３９
8	礼拝得髄	らいはいとくずい	延応２年４月５日頃	興聖寺	１２４０
9	谿聲山色	けいせいさんしょく	延応２年４月20日	興聖寺	１２４０
10	諸悪莫作	しょあくまくさ	延応２年８月15日	興聖寺	１２４０
11	有時	うじ	仁治元年10月１日	興聖寺	１２４０
12	袈裟功徳	けさくどく	仁治元年10月１日	興聖寺	１２４０
13	伝衣	でんえ(でんね)	仁治元年10月１日	興聖寺	１２４０
14	山水経	さんすいきょう	仁治元年10月18日	興聖寺	１２４０
15	仏祖（仏祖宗礼）	ぶっそ（ぶっそしゅうれい）	仁治２年１月３日	興聖寺	１２４１
16	嗣書	ししょ	仁治２年３月27日（草案） 寛元元年９月24日（修訂）	興聖寺 吉峰寺	１２４１ １２４３
17	法華転法華	ほっけてんほっけ	仁治２年夏安居日	興聖寺	１２４１
18	心不可得	しんふかとく	仁治２年夏安居	興聖寺	１２４１
19	後心不可得	ごしんふかとく	仁治２年夏安居	興聖寺	１２４１
20	古鏡	こきょう	仁治２年９月９日	興聖寺	１２４１
21	看経	かんきん	仁治２年９月15日	興聖寺	１２４１
22	仏性	ぶっしょう	仁治２年10月14日	興聖寺	１２４１
23	行仏威儀	ぎょうぶついいぎ	仁治２年10月中旬	興聖寺	１２４１
24	仏教	ぶっきょう	仁治２年11月７日	興聖寺	１２４１
25	神通	じんづう	仁治２年11月16日	興聖寺	１２４１
26	大悟	だいご	寛元２年１月27日	吉峰寺	１２４４
27	坐禅箴	ざぜんしん	仁治３年１月28日	興聖寺	１２４２
28	仏向上事	ぶつこうじょうじ	仁治３年３月18日	興聖寺	１２４２
29	恁麼	いんも	仁治３年３月20日	興聖寺	１２４２
30	行持 上	ぎょうじ じょう	（仁治３年４月５日）	興聖寺	１２４２
30	行持 下	ぎょうじ げ	仁治３年４月５日	興聖寺	１２４２
31	海印三昧	かいいんざんまい	仁治３年４月20日	興聖寺	１２４２
32	授記	じゅき	仁治３年４月25日	興聖寺	１２４２
33	観音	かんのん	仁治３年４月26日	興聖寺	１２４２
34	阿羅漢	あらかん	仁治３年５月15日	興聖寺	１２４２
35	栢樹子	はくじゅし	仁治３年５月21日	興聖寺	１２４２
36	光明	こうみょう	仁治３年６月２日	興聖寺	１２４２
37	身心学道	しんじんがくどう	仁治３年９月９日	興聖寺	１２４２
38	夢中説夢	むちゅうせつむ	仁治３年９月21日	興聖寺	１２４２
39	道得	どうとく	仁治３年10月５日	興聖寺	１２４２
40	画餅	がびょう	仁治３年11月５日	興聖寺	１２４２
41	全機	ぜんき	仁治３年12月17日	六波羅蜜寺側辺波田野義重幕下	１２４２
42	都機	つき	仁治４年１月６日	興聖寺	１２４３
43	空華	くうげ	寛元元年３月10日	興聖寺	１２４３
44	古仏心	こぶっしん	寛元元年４月29日	六波羅蜜寺	１２４３
45	菩提薩埵四摂法	ぼだいさったししょうぼうぼう	寛元元年５月５日	興聖寺？	１２４３
46	葛藤	かっとう	寛元元年７月７日	興聖寺	１２４３

47	三界唯心	さんがいゆいしん	寛元元年閏7月1日	禅師峰	1243
48	説心説性	せっしんせっしょう	寛元元年	吉峰寺	1243
49	仏道	ぶつどう	寛元元年9月16日	吉峰寺	1243
50	諸法実相	しょほうじっそう	寛元元年9月	吉峰寺	1243
51	密語	みつご	寛元元年9月20日	吉峰寺	1243
52	仏経	ぶっきょう	寛元元年9月	吉峰寺	1243
53	無情説法	むじょうせっぽう	寛元元年10月2日	吉峰寺	1243
54	法性	ほっしょう	寛元元年10月	吉峰寺	1243
55	陀羅尼	だらに	寛元元年	吉峰寺	1243
56	洗面	せんめん	延応元年10月23日 寛元元年10月20日 建長2年1月11日	興聖寺 吉峰寺 永平寺	1239 1243 1250
57	面授	めんじゅ	寛元元年10月20日	吉峰寺	1243
58	坐禅儀	ざぜんぎ	寛元元年11月	吉峰寺	1243
59	梅華	ばいか	寛元元年11月6日	吉峰寺	1243
60	十方	じっぽう	寛元元年11月13日	吉峰寺	1243
61	見仏	けんぶつ	寛元元年11月19日	禅師峰	1243
62	徧参	へんざん	寛元元年11月27日	禅師峰下茅庵	1243
63	眼睛	がんぜい	寛元元年12月17日	禅師峰	1243
64	家常	かじょう	寛元元年12月17日	禅師峰	1243
65	龍吟	りゅうぎん	寛元元年12月25日	禅師峰下	1243
66	春秋	しゅんじゅう	寛元2年	越宇山奥（禅師峰？）	1244
67	祖師西来意	そしせいらいい	寛元2年2月4日	越宇深山（禅師峰？）	1244
68	優曇華	うどんげ	寛元2年2月12日	吉峰寺	1244
69	発無上心	ほつむじょうしん	寛元2年2月14日	吉峰寺	1244
70	発菩提心	ほつぼだいしん	（寛元2年2月14日）	吉峰寺	1244
71	如来全身	にょらいぜんしん	寛元2年2月15日	吉峰寺	1244
72	三昧王三昧	ざんまいおうざんまい	寛元2年2月15日	吉峰寺	1244
73	三十七品菩提分法	さんじゅうしちほんぼだいぶんぽう	寛元2年2月24日	吉峰寺	1244
74	転法輪	てんぼうりん	寛元2年2月27日	吉峰寺	1244
75	自証三昧	じしょうざんまい	寛元2年2月29日	吉峰寺	1244
76	大修行	だいしゅぎょう	寛元2年3月9日	吉峰寺	1244
77	虚空	こくう	寛元3年3月6日	大仏寺	1245
78	鉢盂	はつう	寛元3年3月12日	大仏寺	1245
79	安居	あんご	寛元3年6月13日	大仏寺	1245
80	他心通	たしんつう	寛元3年7月4日	大仏寺	1245
81	王索仙陀婆	おうさくせんだば	寛元3年10月22日	大仏寺	1245
82	示庫院文	じくいんもん	寛元4年8月6日	永平寺	1246
83	出家	しゅっけ	寛元4年9月15日	永平寺	1246
84	三時業	さんじごう		不明	
85	四馬	しめ			
86	出家功徳	しゅっけくどく			
87	供養諸仏	くようしょぶつ			
88	帰依三宝（帰依仏法僧）	きえさんぼう（きえぶっぽうそう）			
89	深信因果	じんしんいんが			
90	四禅比丘	しぜんびく			
91	唯仏与仏	ゆいぶつよぶつ			
92	生死	しょうじ			
93	道心	どうしん			
94	受戒	じゅかい			
95	八大人覚	はちだいにんがく	建長5年1月6日	永平寺	1253